

## 第4回 新潟市新バスシステム事業評価委員会 議事概要

■日時：平成28年9月8日（木） 15:00～17:00

■場所：新潟市役所 本館3階 対策室1

■出席者（敬称略）

### 委員

谷口 守（筑波大学 教授）

鈴木 文彦（交通ジャーナリスト）

近野 茂（公認会計士）

早福 弘（新潟商工会議所 専務理事）

井川 聡（一般社団法人新潟青年会議所 副理事長）

豊岡 克（新潟市区自治協議会会長会議 座長）

菊野 麻子（NPO 法人ワーキングウイメンズアソシエーション 副理事長）

### オブザーバー

清水 巖（国土交通省北陸信越運輸局交通政策部長）

小林 正憲（国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所計画課 係長：代理出席）

伴 孝之（新潟県警察本部交通部交通規制課長）

### ■議事概要

#### (1) 評価指標に関する主な内容

- 昨年度の委員会において24の評価指標が設定されているが、これで変更しないということではなく、今後評価を進める中で必要に応じて追加・改善を行っていけば良い。
- 正着性調査のサンプル数が少ない。運転手によるバラつきを抑えるためにも、もっと増やすべきである。
- バス停（駅）や車両の分かりやすさの指標について、アンケート調査よりも専門家や事業者からの意見の方が的確な場合がある。無理にアンケート調査を行わなくても良いのではないか。

#### (2) 評価結果に関する主な内容

- 本委員会の資料をとあわせて、市民にとっても分かりやすい資料を作成した方がいいたのでは。
- 市民のニーズに応じて改善されているということを示す必要があるのでは。

#### (3) 今後の委員会の進め方に関する主な内容

- 新バスシステムの大幅な変更（快速運行やダイヤ見直し、ダイレクト便の増加等）を行った際に、その変更に対する変化をとらえることが出来る指標を設定した方がいいたのでは。
- 定期的に委員会を実施するのはこの時期とし、評価指標の確認等を行う。その他の時期については、必要に応じて開催する。
- 市民にとっても分かりやすい資料について、別途確認する。

#### (4) その他

- 新バスシステムへの意見に応じて改善していることをもっとアピールしてはどうか。
- 他都市のバス事業者が口をそろえて言うのは、BRT線なのになぜ一般バスが走っているのか、ということである。せめてバスの色を統一すべきである。BRT路線が利用者増となってきた中でBRT車両が統一されていないのはマイナスイメージである。
- 時間的に解決する課題と根本的な課題とに分けて整理する必要がある。

以上